

栄東げんきっ子

《中学生編》

第 177 号 2025.2.1 発行
＜編集発行＞
栄東地区まちづくり未来会議
＜問合せ先＞
栄東まちづくりセンター
電話 711-2203

中高生の雪像づくりがルーツの雪まつり

2月4日～11日、第75回さっぽろ雪まつりが開催されます。1950年、中高生が、大通公園で6基の雪像を作ったのが起源です。栄東地区でも、2009年からつどーむが第2会場になり、栄東地区まちづくり未来会議が中雪像や雪だるまを制作し、特に雪だるまは、地区内5小学校が持ち回りで担っています。みなさんも、小学生時代、作った方がいると思います。今号では、つどーむ会場を中心にさっぽろ雪まつりを特集します。

“冬を楽しく過ごす”から冬の一大イベントに

雪まつりは、1950年、寒く長い冬を明るく過ごそうと大通公園の一角に6基の雪像を作ったことから始まりました。当時は、犬ぞりレースやスクエアダンス、雪合戦なども開催し、その後、規模が拡大し、層雲峡温泉氷爆まつり、旭川冬まつりと並ぶ道内三大まつりの一つになりました。

1955年からは自衛隊が参加し、雪像はより大きく精巧なものになり、1972年には札幌の冬季オリンピックをきっかけに国際的にも知られるように。

1974年から国際雪像チームも参加し、2024年には、大通会場・つどーむ会場合わせて238万9千人の観客数を数えるなど、札幌の冬の一大イベントです。

第二会場としては、1965年～2005年、陸上自衛隊真駒内駐屯地で大雪像や札幌の歴史の建築物、大きな滑り台などが作られ、子どもたちに大人気でした。2006年～2008年のサッポロさとらんど会場を経て、2009年の第60回雪まつりから札幌市スポーツ交流施設コミュニティドーム（愛称：つどーむ）に移り、現在に至っています。



2007年第58回さっぽろ雪まつり（大通会場）

雪を楽しむ体験型つどーむ会場、集客に貢献

つどーむ会場は、チューブスライダーやスノーラフトなどの雪を楽しむ体験型のアトラクションが大人気です。高校生の雪像制作コンテストも実施され、雪まつりのルーツの流れを汲んでいると言えます。



栄東地区では、2009年当初から会場の入り口に、雪だるまのひな壇を2基の中雪像で挟む「雪まつりウエルカム雪像」を制作しています。

来場する市民や観光客を温かく歓迎し、おもてなしの気持ちを表現するとともに、栄東地区の賑わいを創出することを目的に実施しているものです。

（裏面に続く）



2009年は、アンパン、招き猫と栄小、栄東小35名が50体の雪だるまを制作しています。中雪像は、のちにアニメで国際的に有名なピカチュウが登場しますが、素朴な雪だるまは一貫して続け、地区内の栄小、栄東小、栄緑小、栄町小、栄南小の5校の児童が毎年持ち回りで100個余りを制作しています。雪だるまの胸には、子どもたちのウエルカム・メッセージカードをつけ、「キュート（かわいらしい!）」と外国人観光客にも大人気です。

新型コロナの影響で3年間は休止しましたが、昨年から再開し、約62万9千人が来場しました。新たにウエルカム雪像前で観光客の記念撮影をお手伝いする「シャッター押しボランティア」を中学生ボランティアも参加して実施し、多くの方々に喜ばれています。このように、栄東地区では、地区を挙げて雪まつりを盛り上げ、つど一む会場の集客に大いに貢献しています。

■雪まつりの入場者の推移（2009年～2024年）

単位：万人

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
雪まつり全体	208.0	243.3	241.6	205.4	236.7	240.2	235.0	260.9
つど一む会場	33.8	47.2	42.0	35.1	44.8	46.9	52.1	65.4
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
雪まつり全体	264.3	254.3	273.7	202.1	-	-	175.0	238.9
つど一む会場	72.3	60.9	80.3	44.6	-	-	-	62.6

雪まつりつど一む会場 シャッター押し

中高生ボランティア募集

栄東地区まちづくり未来会議で制作するつど一む会場のウエルカム雪像前で、記念撮影をする観光客のスマホなどのシャッター押しボランティアを募集します。

【日時】令和7年2月8日（土）、9日（日）、11日（火・祝）の10：00～12：00もしくは13：00～15：00のいずれかの2時間程度

【場所】雪まつりつど一む会場（詳細は応募者に連絡）

【対象】栄東地区の中高生

【募集人数】各時間帯で数名程度

【申込方法】右記QRコードからお申し込みいただけます。

【申込締切】令和7年2月3日（月）

【その他】参加者にQUOカード（千円相当）を贈呈

【主催】栄東地区まちづくり未来会議

※いずれのボランティアも、札幌市の地域活動保険（傷害保険）が適用されます。また、保護者の同意をもらって応募ください。



▲ウエルカム雪像前は人気の撮影スポット

